

各位

2023年9月8日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和5年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比64.9%、学生団体は同84.6%、団体旅行合計では同72.8%となった。企画旅行については2018年度比60.0%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比60.0%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比47.9%、学生団体は同153.4%、団体旅行合計では同69.8%となった。企画旅行については2018年度比19.2%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比33.0%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比132.6%と2018年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は、前年比125.6%と前年を上回る結果となったものの、2018年度比55.6%と2018年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業系コンベンションでは幅広い業界での取扱いが増えつつあるものの、対2018年度比では取扱額が減少し、2018年度比63.9%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱額が2018年度の数値に概ね近づき、2018年度比99.0%になった。

修学旅行以外の学生団体においては、スポーツ大会の取扱いは増加したものの、宿泊研修・林間学校の取扱いの減少により、2018年度比73.1%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比72.8%となった。

国内企画旅行については、2018年度比60.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、ウェブ広告の断続的な中断、夏キャンペーンの開始時期が1か月遅れとなったことなどにより、2018年度比42.7%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、テーマ型旅行や祇園祭の取扱実績は増加したが、全国旅行支援の終了または延長の切り替え時期により、取扱いが6月に流れ、取扱額は減少した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比60.0%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、視察旅行が復活しつつあるものの、職場旅行や報奨旅行の取扱いが2018年度までの回復には至らず、結果、2018年度比47.9%となった。学生団体は、語学研修団体の取扱い増加により、2018年度比153.4%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比69.8%となった。

海外企画旅行については、2018年度比19.2%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、海外企画商品のプロモーションが不足していたこともあり、販売が低迷、クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ビジネスクラスを利用したツアーが増加、またヨーロッパ方面が好調により平均旅行単価が増加したものの2018年度には及ばない結果となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比33.0%となった。

3. 訪日旅行

訪日旅行については、大型国際会議やワークショップなどに加え、世界水泳福岡大会事前合宿案件による数値の底上げ、及び7月のバケーションシーズンの訪日個人旅行者向けオンライン宿泊販売が特に好調に推移し、訪日旅行の総取扱額としては、2018年度比132.6%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから2018年度との比較にて表記。